

2016年10月1日

18年ぶりにバス運転士の制服を一新

濃飛乗合自動車(株)(本社:岐阜県高山市花里町 社長:齋藤 尚正)は、10月1日より運転士及び男性一般職員の冬用制服を一新し、その着用を開始いたしました。

今回の制服一新は、前回の更新(平成10年)以来18年ぶりとなるもので、当社のバスのボディーカラーでイメージカラーでもある“緑”色をベースに、社長指針である「安心・安全・人に優しい輸送サービスの提供」を落ち着きと安心感を与える深い緑色で表現。現行の夏服(薄い緑色)と統一感を持たせたものとしています。

また、上着の背の両サイドにはアクションプリーツ(動きやすく、機能的なプリーツ(襞))を取り付け、腕の稼働幅を十分確保することにより運転業務をさらにしやすくする配慮も施しました。なお、上着右胸部分の濃飛バスのエンブレム、制帽の帽章・モールを色分けし、職責が分かるようにしています。

新制服に袖を通した運転士は、「18年ぶりの更新であり気持ちも新たに、地元や観光のお客様に安心してご乗車いただけるようにしたい。」「背中にプリーツがあるおかげで、腕が動かしやすい。」等と話しています。

今回の制服貸与対象者数

運行管理者	27名
運転士	169名
一般職員	22名
合 計	218名

